

★今月のテーマは「体について知ろう（内臓の働き）」です。

ヒトの体にはたくさんの内臓の働きによって、元気に毎日過ごすことが出来ます。今日は内臓の一部をそれぞれの働き、役割を紹介していきたいと思います。

・心臓・

血液を全身に送り込むために収縮したり、拡張して心拍動を定期的に正しく行っている筋肉のポンプの役割をしています。

・肺・

小さな房状の袋（肺胞）がたくさん集まってできています。呼吸は空気中の酸素を体に取り入れ、二酸化炭素を吐き出します。この交換が肺の最も大切な役割です。

・腸・

胃で溶かされた食物の影響や水分を吸収する器官で、大きく小腸と大腸に分かれ、それぞれの役割があります。腸の長さや構造は動物や、摂取している食物により長さが大きく異なる場合があります。

・胃・

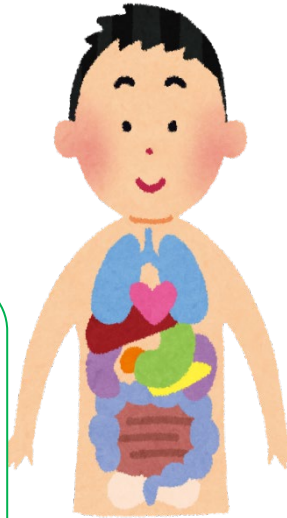
消化器官の一部で、食道と十二指腸の間にある臓器です。胃は食べた食物を数時間貯蔵し、たんぱく質を分解し、消化する働きなどがあります。

・肝臓・

1.2kgもある巨大な臓器です。栄養分の貯蔵と変換するのが役割とされています。また、多少の障害があっても症状が出にくい「沈黙の臓器」と呼ばれています。

・腎臓・

主な機能は、血液から老廃物や不要の水分をろ過し、尿として排出、尿素などのたんぱく質などの代謝物を排出、内分泌液の代謝調整などがあります。



※この季節に気をつけたい感染症※

ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス感染症）

主な症状は嘔吐下痢。脱水症状を合併することがあります。

予防法⇒現在ワクチンの開発は行われているが、現在使用可能な物がありません。経口感染、接触感染、空気感染により感染します。主に手洗いが一般的な予防法です。嘔吐物には迅速に適切な対応が重要です。（マスク・手袋・雑巾・次亜塩素酸ナトリウム消毒液などの清掃液を使用）
これらの予防策は保育園などで実際に行われていますので聞いてみてください♪

インフルエンザ

インフルエンザウイルスによる肺と気道の感染症です。感染すると発熱、鼻水、のどの痛み、咳、筋肉痛、全身のだるさが生じます。

予防法⇒予防接種をできるだけ受ける事が大事！受けることで絶対にかからないというわけではないが、子どもの重症化を予防するという効果があります！